

No.205

平成30年6月定例会

# にいざ市議会だより



市場坂キツネノカミソリの里に咲くキツネノカミソリ  
(市民カメラマン・島村正壽さん撮影)

## 目次

- P2** 新座市のこんなことが決まりました  
6月定例会議案審議  
陳情・人事紹介
- P3~7** 新座市のこんなことを聞きました  
一般質問ダイジェスト
- P6** 地方の声を国へ  
関係機関に意見書を送付しました  
オリパラニュース  
委員会レポート
- P7** 全員協議会から  
今後の財政見通しと財政分析について など
- P8** 議案等の審議結果  
休日議会・議場コンサートを開催しました  
政務活動費の執行状況をお知らせします

## Pick up

### 一般会計補正予算(第2号)を可決

公園等に健康器具を設置するための経費など

大和田放課後児童保育室の建設工事の設計に必要な経費を始め、市内の公園及び児童遊園に健康器具を設置するための経費等を計上するもので、既定の歳入歳出予算に1億1千238万1千円を追加し、総額を495億8千583万3千円として議会に提出されました。

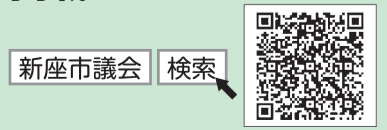


■野火止公園に設置されている健康器具

## 議会日誌

29日	24日	8日	7日	<b>8月</b>	26日	23日	11日	9日	<b>7月</b>	29日	28日	27日	21日	19日	10日	7日	4日	<b>6月</b>	
第3回定例会開会	議会運営委員会	青森県弘前市行政視察来訪	八潮市行政視察来訪		議員研修会	埼玉県市議会第5区議長会	ツク特別委員会	議会運営委員会		議会運営委員会	朝霞地区一部事務組合議会定例会	岩手県金石市行政視察来訪	志木地区衛生組合議会定例会	志木地区衛生組合議会定例会	全員協議会	議会改革特別委員会	議会運営委員会	第2回定例会閉会	
							兵庫県小野市行政視察来訪									休日議会・議場コンサート	オリピック・パラリンピック特別委員会	オリピック・パラリンピック特別委員会	

次回 **9月定例会** お知らせ  
開会日 **8月29日(水)**  
会期日程(案)はHPに掲載しています。



にいざ市議会だよりをスマートフォンへ配信します。



# 新座市のこんなことが決まりました

## 6月定例会 議案審議

### 大和田放課後児童保育室の設計委託料など

— 平成30年度一般会計会計補正予算(第2号)を可決 —

今回の補正予算は、既定の歳入歳出予算に1億1千38万1千円を追加し、総額を49億8千583万3千円とするものである。

主な内容は、大和田放課後児童保育室の建設工事の設計に必要な経費を始め、志木駅南口駅前広場等整備工事における諸工費の増額や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた啓発品の作成に係る経費を計上するほか、道路の拡幅用地の取得などに必要な経費を計上するものである。

歳入については、内示等のあった国庫支出金を計上するとともに、不足する財源については、財政調整基金を取り崩して対応するもので、繰入れ後の財政調整基金の残高は、2億2千97万円となる。また、債務負担行為については、粗大ごみ収集受付システム借上事業について設定するものである。

質疑では、「児童扶養手当に係る所得制限限度額の見直しで、母子父子福祉費の中に児童扶養手当システムの改修委託料があるが、どのような内容なのか」「市道第12-10号線の測量調査及び道路拡幅用地取得について、場所、道路延長及び幅員をお聞きしたい」「コミュニケーション助成事業助成金を活用して、公園費と児童遊園費に健康器具を設置するところがあるが、概略を説明してもらいたい」などが



今回の補正予算は、既定の歳入歳出予算に1億2千万円を追加し、総額を33億9千66万5千円とするものである。

内容は、工事工程の見直しに伴い、道路築造等工事費5千万円及び建物移転等補償金7千万円をそ

— 平成30年度大和田一・三丁目地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)を可決 —



■志木駅南口駅前広場 (本年6月末現在)



■現在の大和田放課後児童保育室

あり、4常任委員会に分割付託し、審査した。本会議では、全会一致で可決した。

れぞれ増額するもので、これに伴い、歳入の基金繰入金8千380万円及び市債3千620万円をそれぞれ増額するものである。

質疑では、「今回の補正予算の金額は、工事請負費が5千万円、建物移転等補償金が7千万円、合わせて1億2千万円というかなり大きな補正予算になっている。説明を見ると、工事工程の見直し等に伴い増額すると書いてあるだけでよく分からない。通常なら、1億2千万円もするようなものについては、当然当初予算のときに年間の工程を組んで考えてくるので、突然何かが発生したというふうに見えるのが妥当な話なのだけれども、当初予算以後の今の時期になぜ1億2千万円もの予算を伴う工事工程の見直しをするようになったのかという疑問があるので、そこが分かるように説明を頂きたい」などがあり、建設常任委員会に付託し、審査した。

本会議では、「先日の議会で、経常収支比率が3年連続で95%を超えたのは新座市だけであることから、県のヒアリングを受けたという話があった。再三、大型の事業を同時並行で進めていくことは危険だと言ってきたわけだが、この大和田一・三丁目に関してはどうなんやというふうなところになってきている。その結果、保育園の待機児童は減らず、放課後児童保育室の支援員の欠員も埋まらず、障がいのある方たちへのサービスはカットされ、学校の先生たちの駐車場の料金もなくならず、国民健康保険特別会計への繰入れもなくなっていく。そう言ったときに、若い人たちが新座市に来たいと思っ

ならないと思う。若い人たちが新座市に来たいと思うことで、少しずつではあるが、税収も上がっていくと思うので、こういう大型事業をやることで税収が後で増えるという考え方は非常に危険だと思っている。反対する」などの反対討論、「大和田一・三丁目地区土地区画整理事業の直近の進捗状況を視察させていただいた。道路や造成が完成し、大型物流倉庫、商業施設、製造業の本社社屋及び工場など、市が誘致した企業の建物も全て着工し、今年の秋にはいち早く市民待望の商業施設がオープンする予定となっている。新座市民だけでなく、近隣市からも多くの人がこの大和田地区に集い、新たなにぎわいの創出が期待でき、税収増にもつながっていく。よって、公園や橋梁等の整備も遅れることなく、しっかりと整備をしていただきたい。これは要望だが、天候の影響で工事が遅れているようなので、可能な部分は前倒しをするので全体の工事スケジュールを是非守っていただきたい。さらに、誘致企業も順次開業していくので、道路網の整備と市民の憩いの場となる公園整備も遅れることなく進めていただき、平成31年度からは、税収を始めとする事業効果をしっかりと生み出していただきたい」「建設常任委員会の審査の中で、この事業は事業の前倒しに伴うもので、総事業費を増額するものではないということが分かった。この地区にある大和田運動場の野球場を移転して、その跡地に橋梁と公園を整備するという計画となっている。財源については、保留地処分金の基金繰入金及び起債で充当するというところになっている。昨年の長雨や本年冬の大雪の影響で遅れが生じていること

から、今回の工事の前倒しによって全体の工事スケジュールが守られるという面からも、当補正予算に賛成する。工夫を重ねながらスケジュールどおりの施行に努力していただきたい」などの賛成討論の後、建設常任委員長の報告の通り賛成多数で可決した。

新座市公共下水道野火止中央幹線工事の請負契約を締結するため、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、提案をするものである。

本会議では、全会一致で可決した。



■工事概要図

— 議案第65号工事請負契約の締結についてを可決 —



■移転予定の大和田運動場 (野球場)

## 陳情

閉会中に審査した陳情

(平成29年) 陳情第8号

保育園の保育標準時間及び延長料金に関する陳情書

付託 先厚生常任委員会

審査結果 趣旨採択

(平成29年) 陳情第11号

介護職員確保の支援に関する陳情書

付託 先厚生常任委員会

審査結果 趣旨採択

今定例会で審査した陳情

陳情第2号

精神障がい者通院医療費助成について従来どおりの助成を続けることを求める陳情

付託 先厚生常任委員会

審査結果 不採択

陳情第3号

独立行政法人都市再生機構法第25条第4項「家賃の減免」実施と居住者合意の「団地別整備方針書」策定に関する意見書提出を求める陳情書

付託 先総務常任委員会

審査結果 採択

## 人事紹介

人権擁護委員

本田 恵子氏

市長から人権擁護委員に本田恵子氏を推薦することに意見を求めたい旨の議案が提出され、議会では全会一致で同意されました。



市政に問う!

一般質問

ダイジェスト

新座市のこんなことを聞きました



日本共産党 芦野 修

放課後児童保育室の次期指定管理者について市の見解は民間事業者等の公募により支援員の確保を図る方針とした

市は、次期指定管理者として11校を社会福祉協議会にし、残り6校を民間事業者の公募とする方針を示したが、①現在の支援員の欠員状況及びその原因、②複数の指定管理者が存在することによる事業の統一性について伺う。

①5月1日現在、嘱託職員12名、第1種臨時職員21名の計33名が欠員となっている。支援員の給与等の水準が近隣市と比べて低いことや入室児童増加に伴い必要となる支援員の増加が、欠員解消に至らない要因と考えられる。②事業者が変更となった場合は、保護者への説明や指定管理者間の引き継ぎをしっかりと行う。

空き家のリフォームを支援する補助制度創設の検討状況は他市の例を参考に調査・研究を進める

新座市空家等対策計画策定後2年経過したが、計画にある補助制度創設の検討状況を伺う。空き家バンクの運用を行いつつ、今後は他市の状況等も参考に調査・研究を進める。



新座市空家等対策計画



政和会 池田 貞雄

アスリートの寄贈品等を展示しスポーツ都市のアピールを多くの機会を捉えてスポーツ都市にいざをアピールする

市から輩出されたアスリートからの寄贈品等を展示できる場所を確保し、同時に東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、スポーツ都市にいざをアピールできないか。

オリンピックで活躍された皆様の直筆サインを観光プラザに展示しており、今後も市民の目にとまりやすい場所に展示する。また、交流会、表敬訪問等の多くの機会を捉え、スポーツ都市にいざをアピールしていく。

災害時にペットと一緒に避難した方への対応は防災チェックリストを窓口で配布し更なる啓発を実施する

災害時において、避難所にペットと一緒に避難した方への対応と、ガイドブック等の作成について、市の考えを伺う。ペットの避難所設定と運営にリストを、市のホームページに掲載している。今後は窓口等でも配布し、飼い主に対し、更なる啓発を実施していく。



防災チェックリスト (ペット飼い主編)



公明党 川上 政則

放課後児童保育室が抱える課題への取組は児童が安全・安心な放課後を過ごせるよう取り組んでいく

①入室希望者が増える夏休みに対応するため、ココフレンドを拡充し、連携すべきではないか。②指定管理者の導入に当たっては、支援員の意向を尊重し、雇用を確保すべきではないか。

①教育委員会にココフレンドの新規開設や時間拡充に努めてもらうとともに、連携について協議・検討を重ねていく。②指定管理者に現在の支援員の要望を聞き入れてもらえるよう話をする。

開発行為におけるごみ集積所の設置基準を定めるべきでは現行の規定の中でしっかり事業者に指導していく

開発行為に伴うごみ集積所の設置については、一戸当たりの面積だけでなく、世帯数や集積所の間隔についての規定を設けるべきではないか。開発行為に際して、ごみ集積所の設置基準を設けることは、事業者への過度な規制であり考えていない。また、開発後に条件を満たせば、ごみ集積所の設置は可能である。



開発行為に際しては、一戸当たり0.2m以上のごみ集積所を設ける必要がある



政和会 中村 和平

東久留米志木線の開通に向けた信号機設置の進捗状況は開通までには設置される予定である

第六中学校付近及び水道道路と東久留米志木線の交差点への信号機設置について、進捗状況を伺う。

第六中学校付近には押しボタンス式信号機を設置し、水道道路と東久留米志木線の交差点には定周式信号機を設置することが決定した。信号機の整備時期については、県警察本部から東久留米志木線の開通時までには設置するとの回答を頂いている。

ごみボックス購入費の一部を補助しては市で貸与している防鳥ネットを利用いただきたい

カラスによるごみ散乱防止策として、ごみボックスの購入費の一部を補助してはどうか。ごみボックスの設置は、道路通行時の安全面等に課題があるため、引き続き市で貸与している防鳥ネットを利用いただきたい。また、ごみの散乱防止に効果的な袋状の防鳥ネットの作り方を広報にいざ7月号に掲載するなどとして、更なる周知に努める。



カラス対策に効果のあるごみボックス



日本維新の会 塩田 和久

敬老祝金を廃止しては直ちに廃止しないが現金以外のお祝いについて研究する

敬老祝金を見直している自治体が出てきている。市の財政状況を勘案し、今後は心のこもった記念品や手紙でお祝いできないか伺う。

高齢化により敬老祝金の予算は年々増加しているが、県内の他自治体と比較しても金額は高くない。直ちに廃止する考えはないが、現金以外で喜ばれるようなお祝いを調査・研究していく。

立教大学温水プールの利用者拡大対策を多くの利用が見込める8月に開放日の拡大を図る

立教大学新座キャンパス内にあるセントポールズ・アクアティックセンターが市民開放されてから約3年が経つが、認知度が低く、利用者も限定的である。市の費用負担を考へても利用者を拡大すべきと考えるが、周知の拡大、開放日及び開放時間の拡充ができないか伺う。



立教大学室内温水プール「セントポールズ・アクアティックセンター」



公明党 鈴木 秀一

住宅確保要配慮者への賃貸住宅の促進に対する取組は県が策定予定の促進計画の推進状況等について様子を見る

一人暮らし高齢者や子育て世代等の住宅確保要配慮者への施策が急務である。県に対し、空き家等を活用した住宅セーフティネット機能の推進を強く要望すべきと考えるが、市の取組を伺う。

県では、住宅セーフティネット制度の構築に取り組んでおり、来年度から予算化する予定である。今後は、県が策定を予定している賃貸住宅供給促進計画の進捗状況や近隣自治体の動向等の様子を見たいと考えている。

全中学校へ学習室の設置を検討すべき学習室を設置できるような積極的に進めていく

第六中学校では学習室が設置され、早朝や放課後に有効に利用されている。全中学校への設置を検討すべきと考えるが、市の見解を伺う。子どもたちが主体的に学習に取り組む環境を用意し、整備していくことは必要だと考える。空き教室等を利用し、積極的に学習室を設置するよう進めていく。



第六中学校の学習室



市政に問う! 一般質問

ダイジェスト



政和会 平野 茂

こころのプロジェクト事業はどのような事業を展開するかなどもたちと夢の持ち方やかなえ方を考えるものである

Q こころのプロジェクト事業はどのような事業を展開するの... また、事業を続けていくために、クラウドファンディングやふるさと納税を活用してはどうか。

A 様々なスポーツで日本を代表するトップアスリートが夢生として小学校を訪問し、子どもたちと一緒に夢の持ち方やかなえ方について考える授業をクラス単位で展開する。財源は青少年教育振興基金を充てているが、枯渇する可能性もあり、基金を充実する方法を今後研究したい。

妙音沢緑地の倒木等の管理は11月開催予定のクリーンアップ作戦で処分する

Q 妙音沢緑地に倒木等があり、状態が好ましくないように見える。処分はどうするのか。

A 倒木は例年11月に開催するクリーンアップ作戦で処分する予定だったが、ここ2年は悪天候により開催できていない。本年11月に処分する予定だが、今年も開催できなければ、市で対応する。



妙音沢緑地の倒木



公明党 亀田 博子

保育士の確保策及び処遇改善に力を入れるべきでは市でできる取組について引き続き検討する

Q 保育士の確保策及び処遇改善に力を入れるべきと考えるが、市の見解を伺う。

A 県に対して、給与補助など保育士の確保に向けた効果的な取組の推進を要望する。また、市の取組として、本年度は導入を見送った保育士宿舎借上げ支援事業についても、引き続き検討する。

家庭用の冊子等を作成して食品ロス削減をPRしては広報にいざ等の内容を充実させてPRに努める

Q ①家庭用の冊子や小・中学生用のパンフレット等を作成して、食品ロスの削減をPRしてはどうか。②市を挙げてフードドライブを実施してはどうか。

A ①食品ロス単独での冊子作成は難しいため、広報にいざ、市のホームページ及びごみ分別アプリの内容を充実させるなどPRに努める。②フードドライブを実施している自治体の状況を参考に、事業の実施を検討する。



食品ロスの削減にご協力! (市のホームページ)



政和会 伊藤 信太郎

ごみ焼却施設におけるごみの有効活用を施設更新等の検討時期に提案していきたい

Q ふじみ野市・三芳町環境センターでは、ごみ焼却による余熱の温水プール等への活用や余剰電力の売電を行っている。富士見環境センター及び新座環境センターにおけるごみの活用の参考になると考えるが、市の見解を伺う。

A 志木地区衛生組合等との協議が必要であり、施設更新等の検討時期に、ごみの有効活用が図られるような施設及び整備方法について提案したい。

志木駅南口の点字ブロックの改修を点字ブロックの交換を行った

Q 志木駅南口駅前広場等整備工事において、工事終了箇所から通行できるようになっているが、点字ブロックが欠落したり、工事用安全柵によって遮られたりしている箇所がある。目の不自由な人たちのために早急な対応が必要と考えるが、市の見解を伺う。

A 途切れている直前の点字ブロックを直進用の線状のものから停止用の点状のものに交換した。



工事用安全柵によって遮られた点字ブロック



公明党 野中 弥生

性別に関係なく選べる制服の導入を検討すべき制服を変更する時期に考慮したい

Q 本年4月に開校された千葉県柏市立柏の葉中学校では、性別に関係なく選べる制服を導入している。性自認が異なるLGBTの子どもたちにもジェンダーレスの制服の導入は不可欠であると考え、市の考えを伺う。

A 生徒一人一人の特性に応じた適切な対応ができるよう学校に対して指導をしている。各学校で制服を変更する時期になった際には、導入に向け考慮したい。

県のコバトン健康マイレージ事業について市の取組は多くの市民に機会を工夫して周知する

Q 埼玉県コバトン健康マイレージは、スマートフォンアプリを活用して運用するが、現在の市への登録状況や市民への周知についての取組を伺う。

A 本年6月1日現在、154名が登録している。ポスターやチラシの設置・配布、窓口や健康教室での案内等機会を工夫し、市民に周知を図っていく。



埼玉県コバトン健康マイレージのご案内 (保健センター通信)



政和会 鈴木 明子

小学生への学習支援・生活支援を行う考えはジュニア・アスリート事業を通じて調査・研究していく

Q 県はモデル事業として、生活困窮世帯及び生活保護世帯の小學生に様々な支援を行うジュニア・アスリート事業を開始する。本市でも小学生への学習支援や生活支援を行う考えはないか伺う。

A 本市でも小学生への支援は効果的であると考え、モデル市の公募に応募したところ、モデル市に選定された。モデル事業の期間は3年間だが、その後も支援が持続できるよう、事業を通じて調査・研究を続けていく。

母子手帳アプリを導入すべきでは副読本アプリとメールマガジンで同等サービスを提供する

Q ふじみ野市では、成長の記録や予防接種の管理ができ、子育てに役立つ情報も届く母子手帳アプリを導入した。本市でも導入すべきと考えるが、市の見解を伺う。

A 成長の記録や子育て情報の閲覧が可能な副読本アプリを紹介している。メールマガジンの配信準備も進めており、合わせることで同等のサービスを提供する。



ふじみ野市の子育て支援アプリ「ふじみん電子母子手帳」



公明党 滝本 恭雪

熱中症の注意喚起を強化すべくでは防災無線による定時放送で注意喚起を行う

Q 市を挙げて、熱中症対策及びクールシェアに取り組みべきと考えるが、市の見解を伺う。

A 7月1日から9月30日までの午後1時から2時までの間に、熱中症の注意喚起について防災無線による定時放送を行う。配食サービス利用者が高齢者支援事業者を通じて、注意喚起についてチラシを配布する。また、今後も市内10か所の公共施設をクールシェアスポットとして指定し、市のホームページ等で周知する。

オストメイト対応前広便座を公共施設に設置してはどうか多目的トイレの整備が困難な場合は設置を検討する

Q 健康者も一般的な便座と同じ感覚で使用できるオストメイト対応前広便座を公共施設に設置してはどうか。

A 公共施設の新設又は改修の際には、基本的にオストメイトに対応した多目的トイレを整備していくが、面積の問題等で多目的トイレの設置が困難な場合は、前広便座の設置を検討する。



オストメイト対応前広便座



市政に問う!

一般質問

ダイジェスト



政和会 小池 秀夫

今後の具体的なシティプロモーションの取組は今年度中にシティプロモーション方針を策定予定である

Q 市は、新座市地方創生総合戦略人口ビジョンに基づいて、まちづくりを進めていくものと思うが、今後の具体的なシティプロモーションの取組について伺う。

A 現在、推進懇話会等からの意見集約や市の現状分析等をはじめ、12月にパブリック・コメント手続による意見募集を行い、年度内には「シティプロモーション方針」を策定する予定である。



政和会 助川 昇

オリンピック・パラリンピック市民大会議の開催を開催に向けた検討を進めたい

Q オリンピック・パラリンピックについて市の現状を知っていただくためにも、大規模なオリンピック・パラリンピック市民大会議を早期に開催すべきと考えるが、市の見解を伺う。

A 8月にアスリートを招いた講演会を予定しているため、まずは、この機会を活用するなど、市民から直接意見を頂ける場を設け、市民大会議の開催に向けた検討を進めたい。



公明党 白井 忠雄

市制施行50周年に向け「新座市50年史」の編纂を早急に作業を進める環境を整備したい

Q 2020年に迎える市制施行50周年に向け、市の貴重な歴史を後世に残すため、「新座市50年史」の編纂を行うべきと考えるが、市の見解を伺う。

A 教育委員会として速やかに取り組むべき重要な課題と認識している。専門職員の配置や委員会の設置など、作業が進められる環境を早急に整備したい。市長部局でもバックアップしていく。



日本共産党 工藤 薫

学校給食費の一人1千円助成や第3子以降を無償化すべき給食設備の充実を最優先に進めたい

Q ①学校給食費の無償化は、首長の決断で始まった自治体が多い。当面、一人1千円の助成を実施してはどうか。②第3子以降の学校給食費の無償化を速やかに実施すべきではないか。

A ①給食提供に関しては、給食設備の充実を最優先に進めているため、今すぐの実施は難しい。②補助額が年間約1千500万円掛かることから、新たな計画を策定する中で改めて考えたい。



日本共産党 小野 大輔

新座三丁目地域の溢水対策を今後も関係機関との協議や雨水流入対策等に取り組む

Q 昨年、污水管から污水が漏れ出したが、①原因を特定し、②改善を図れないか伺う。

A ①荒川右岸流域下水道幹線に他市からも大量の雨水が浸入して満管状態となったことにより、本市分の污水が流下不能となったことによるものである。②県の流域下水道管路と処理場の能力向上等について、県と協議を進めている。また、不明水（污水管への雨水流入）対策については、今後の下水道施設の維持管理方針の中で取り組んでいきたい。



日本共産党 辻 実樹

大人の発達障がい者の生活・就労相談等の周知を引き続き大人の発達障がいの周知に努める

Q 「障がい者福祉の手引」に大人の発達障がいも加え、生活や就労に関する相談窓口等を周知してはどうか。また、市庁舎でチャレンジ雇用を実施してはどうか。

A 手引改訂の時期には記載内容の見直しを行い、引き続き周知に努める。チャレンジ雇用は、職場環境の整備等の課題があり、当面実施する予定はないが、現状の職場実習を中心に進めていく。



関越自動車道新座料金所付近

スマートインターチェンジ設置に向けた進捗状況は保谷朝霞線の路線測量の成果を基に調査・研究を進める

Q 関越自動車道新座料金所付近へのスマートインターチェンジ設置の進捗状況について伺う。

A 周辺の道路事情を勘案すると、スマートインターチェンジの直接の接続先道路として、都市計画道路保谷朝霞線が最適であると考えている。今後、県が行う路線測量により保谷朝霞線の線形が明確になるので、その成果を基に調査・研究を進めていきたい。

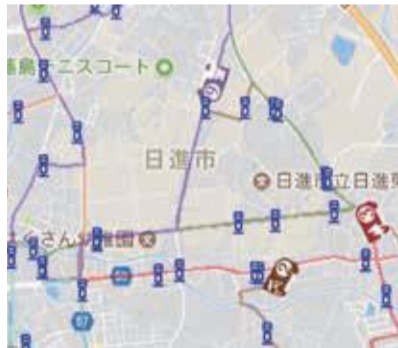


歩道整備予定の陣屋通り

陣屋通りの歩道整備についての工事進捗状況・計画は今年度から3年かけて実施する

Q 現在進められている陣屋通り歩道整備は、近隣住民にとって関心が高く、早期完成が待たれている。工事の進捗状況及び計画について伺う。

A 伊豆殿橋から平林寺黒門先まで、今年度から3年かけて実施予定である。今年度と来年度で平林寺側を整備し、最終年度に反対側の歩道と野火止水用水への歩道橋の架橋を整備予定である。



バス停留所やバスの現在位置が表示される日進市の「にっしんまっぷ」

にいバスに「バスロケーションシステム」を導入すべき調査・研究をしていきたい

Q 会派で視察した愛知県日進市では、市内循環バスの現在位置や運行状況をスマートフォン等から閲覧できるバスロケーションシステムを導入している。にいバスの利用者からも、運行の遅れを広報してほしいとの声がある。本市でも導入すべきではないか。

A 導入に当たっては費用対効果を勘案する必要がある。今後、新しい公共交通システムを検討する中で、調査・研究していきたい。



公道化への要望がある私道

私道を寄附採納するための条件を緩和すべきでは提出書類を簡素化するなどして適宜対応する

Q 私道を寄附採納するための条件が厳しい。市民の安全な通行や生活環境の改善のため、要綱等を改正すべきではないか。

A 周辺道路の状況や公共性の高さ等の個々の実情を踏まえ、条件を全て満たしていかなくても寄附採納を受け入れる場合もある。現時点において要綱等を改正する考えはないが、提出書類を簡素化するなど、対応していきたい。



出入口増設の要望がある野火止フォレストパーク

野火止フォレストパークの出入口の増設を現状では難しいが引き続き検討していく

Q 野火止フォレストパークについて、①公園の出入口を増やせないか。②土が舞い上がらないように歩道を木質チップにするなど改善できないか伺う。

A ①現状では困難だが、地域からの要望があるので、引き続き検討する。②ウッドチップを敷くなどの工夫をするよう検討する。



市民会館・中央図書館の駐輪場

中央図書館周辺を整備すべきでは自転車を整然と駐車できるように準備を進めている

Q ①駐輪機を設置するなど、図書館周辺の通路や駐輪場整備の対策について伺う。②図書館付近へのベンチ設置について伺う。

A ①駐輪機は設置費用や維持管理も必要となり設置は難しいが、駐輪場にラインを引き、整然と駐車できる準備を進めている。②ベンチの設置予定はないが、図書館内等に椅子を用意しているのので、休憩等に利用いただきたい。



市政に問う! 一般質問

ダイジェスト



日本共産党 笠原 進

都市高速鉄道12号線建設促進基金は廃止すべきでは

大泉学園町までの工事でも、着手には早くして10年は掛かる。

東所沢駅まで延伸する見通しがな

5億円の基金を存続させるのは疑問である。

基金を廃止して他に活用すべきではないか。

国民健康保険税に係る子ども均等割は減免すべきでは

協会けんぽや共済と異なり、国保は子どもがいると人数分の均等割が掛かる。

今は一人2万円だが、今後一人5万7千円まで値上げが予定されている。

富士見市やふじみ野市のように、子ども均等割は減免すべきではないか。

Table comparing insurance premiums (National Health Insurance, Keisei, etc.) for different household types.

国保・協会けんぽ・共済の保険料(税)比較表



日本共産党 石島 陽子

就学援助の支給要件を改定しては

添付書類を簡素化して申請しやすくするよう改める

就学援助を申請しやすくするため、支給要件を改定すべき

と考えるが、市の見解を伺う。

児童扶養手当を受給している方は、児童扶養手当証書の写しを提出することで就学援助を申請できるよう支給要件を改める。

ひばりヶ丘駅北口駅前広場にバス停留所を移設すべき

ひばりヶ丘駅北口駅前広場の開設に合わせ、にバス停留所を駅前広場へ移設すべきと考えるが、西東京市との協議状況を伺う。

西東京市に確認したところ、駅前広場のスペースが限られていること等から、移設は非常に困難との回答を頂いた。

しかし、ひばりヶ丘駅からバス停留所が遠く利用しづらいため、西東京市の道路上や西武バスの折り返し場が活用できないか検討する。



ひばりヶ丘駅入口にバス停留所



公明党 佐藤 重忠

「自転車の安全な利用に関する条例」を制定すべき

直ちに制定する考えはないが他市の条例を研究する

市民の更なる安全な自転車の利用に向けて、市独自の条例を制定すべきではないか。

県が制定した条例の内容及び趣旨が、本市の取り組みべき内容と一致しているため、直ちに市で条例を制定する考えはないが、今後、県内他市が制定した条例の規定内容を研究していく。

メンタルサポートマークとヘルプマークのPRを更なる普及啓発に努める

精神疾患及び発達障がいのある方が公共の乗り物や人混みの中で強い不安感や発作を起した時に、希望する援助を受けやすくするメンタルサポートマークをPRしてはどうか。

ヘルプマークの更なるPRをしてはどうか。

①対象者から相談を受けたときに情報提供ができるよう、機会を捉えて周知する。



メンタルサポートマーク

地方の声を国へ

今定例会に提出された意見書は7件で、全て可決されました。

可決された意見書は、6月21日付けで関係機関に送付しました。

独立行政法人都市再生機構法第25条第4項「家賃の減免」実施と居住者合意の「団地別整備方針書」策定に関する意見書

送付先 内閣総理大臣 国土交通大臣 独立行政法人都市再生機構理事長

送付先 内閣総理大臣 厚生労働大臣 国土交通大臣 農林水産大臣 国土交通大臣 総務大臣

送付先 衆議院議長 日本年金機構の情報セキュリティ対策の見直しを求める意見書

オリパラニュース

ヘルプマークの更なる普及推進を求める意見書

子ども医療費助成制度を国の責任で行うことを求める意見書

送付先 内閣総理大臣 厚生労働大臣 国土交通大臣

送付先 内閣総理大臣 厚生労働大臣 国土交通大臣

6月19日、市長へ「ブラジル選手団の事前キャンプ誘致に伴う新座市総合運動公園等の改修に対する要望書」を提出しました。

- 委員会レポート: 市議会では、委員会が所管事項の項目ごとに行政視察を行い、行政へ提言しています。今年度の行政視察状況は次のとおりです。
総務常任委員会: 5月16日 広島県広島市 <調査事項> 広島フィルム・コミッションについて
文教生活常任委員会: 5月10日 大阪府堺市 <調査事項> 自転車のまちづくり推進条例について
厚生常任委員会: 5月16日 新潟県見附市 <調査事項> スマートウェルネスみつけについて
建設常任委員会: 5月10日 熊本県熊本市 <調査事項> 熊本地震による道路・橋梁の被害状況及び復旧について



市政に問う!

一般質問

ダイジェスト



野火止上交差点付近

志木街道を県と共に総点検し、安全対策を行うべき

志木街道の野火止上交差点から北側には歩道がなく危険である。早期の道路拡幅を県に要望すると同時に、県と協力して総点検し、今できる安全対策を行うべきではないか。

側溝の破損、未舗装箇所、段差等の危険な状態が確認できたため、朝霞県土整備事務所



指定管理者公募の撤回を求める署名運動も展開された

放課後児童保育室の管理を民間事業者者に委託する目的は、支援員の数を補充するため

利用者は現在の保育室を高く評価しており、指定管理者を公募することに疑問と不安を抱いている。管理を社会福祉協議会以外の事業者者に委託する目的は何か。

精度の高い数値でなかったことに加え、県の障害者福祉計画でもニーズの把握・提供体制の確保が困難で、調整・検討が必要であることから、掲載を取りやめたためである。



大和田二・三丁目地区土地区画整理事業の工事現場(本年5月22日現在)

区画整理事業で地権者の想いをどのようにつまえているのか、形で表していきたい

地権者の協力の下に、土地区画整理事業を進めている。それぞれの地域に歴史がある中で、地権者の想いをどのようにつまえているのか、市の見解を伺う。

地域全体の利益及び福祉を考慮して、より良い環境を整備することが大切である。今後御理解、御協力を頂き、土地区画整理事業を推進したい。また、地権者の想いはしっかりと受け止め、形で表していきたいと考えている。

固定資産税の賦課誤りに伴う返還金等について(6月4日)

固定資産税の賦課誤り1件の内容は、増築家屋に係るものである。平成26年に特別班を設置して進めていた市内全件調査で、賦課誤りの判定を行った際、当初建築時(昭和43年から49年まで)の課税資料の存在が確認できなかったため、判定不能となっていた案件である。対象の家屋は全部で5棟あり、それぞれ床面積1千㎡を超える家屋(事務所、工場等)である。

このような家屋は不動産取得税の対象となるため、当初建築時に朝霞県税務所が評価を行ったものであり、賦課誤りの判定を行った際、同事務所に課税資料の提供を依頼したところ、保存年限を経過しているため存在しないとのことであった。

この度、資産税課では、新庁舎への移転に際し、不要な資料を廃棄するとともに、文書の保管方法を大幅に見直し、全ての課税資料を資料別・年度別に分類・整理した。この作業の中で判定保留となっていた当該家屋の当初建築時の課税資料の写しを発見した。この資料を基に、改めて増築家屋の評価額の算出を行ったところ、平成9年度から29年度までで、総額3千604万4千300円の過徴収があったことが判明した。

今後の財政見通しと財政分析について(6月21日)

平成30年度施政方針に対する質疑において、「2月に設置した財政計画作成プロジェクトチームにより、平成42年度までの長期の財政見通しを作成した上、財政分析や検討を踏まえ、10月の平成31年度予算編成方針等にかかしていきたい」との市長答弁があり、これを受け、長期の財政見通しと、特に経常収支比率の見込みを作成した。

作成した背景であるが、県内市町村の中でも財政の硬直化が非常に進んでいる状況であり、本市の経常収支比率が平成26年度から3か年平均で95%以上となったことから、唯一、県による財政事情ヒアリングの対象となった。その際、本市の経常収支比率が改善されない現状等を危惧され、市としても今後の経常収支比率の推移は特に注視していくべきものと考えた。

経常収支比率は、市税等の経常一般財源(毎年経常的に自由に使える収入)に占める、人件費や公債費等の経常的経費(毎年経常的に支払う必要がある支出)の割合を示した値である。この値が高ければ高いほど、経常的な事業を賄う余裕が歳入にないことを示している。

また、経常収支比率は毎年経常的に進んでいる事業を対象に算定されるため、臨時福祉給付金給付事業等の期間が限定的な事業や、小・中学校の校舎大規模改修や新庁舎建設等の普通建設事業は算定の対象にならない。本市の経常収支比率は、平成24年度は89.2%、平成25年度は91.6%

%であったが、平成26年度以降3か年平均で95%を超えている状態であり、将来の見込みとしても、平成31年度は96.9%、その後の平成33年度、平成34年度は98%まで上昇し、平成37年度においても97.1%と、非常に高い状態が続く見込みとなった。

現在、財政調整基金を取り崩し、更に市有地を可能な限り売り払っていかねば運営できない財政構造となっているところだが、歳入の補填として、減少し続ける不安定な臨時的財源で賄いながら財政運営を続けていくことは、限界に達していると言わざるを得ない。しかし、地方公共団体として実施すべき事業が実施できないという事態は当然回避しなければならない。財政運営は、毎年経常的に行う事業費は毎年必ず入ってくる収入で賄うべきである。

この度作成した経常収支比率の見込みでは、平成33年度には98%となるが、これは、経常的な歳入歳出の差が更に6億円縮まった場合には100%となる状態である。平成25年度の経常収支比率91.6%が平成26年度に95%と3.4ポイント上昇したところだが、これは歳入歳出の差が1年間で約10億円縮まったことによるものである。歳入歳出の差が6億円縮まるという危険性は非常に高いと言わざるを得ず、地方公共団体の責任として市民の生活に影響を及ぼす危険性がある状況をそのままにしておくことはできないと考えている。

第1期障がい児福祉計画において、答申案では記載されていた障がい児の子ども・子育て支援等の利用ニーズの見込みや提供体制の数値目標をカットしたのはなぜか。

障がい児福祉計画の数値目標をなぜカットしたのか 精度の高い数値でなかったためである

市長を補佐し、職務を代行する副市長の二人体制を提案するが、市の見解を伺う。

副市長を二人体制にしている 現行の二人体制が適正であると認識している

市長から報告を受けました 全員協議会から

今後の財政見通しと財政分析について(6月21日)

市長から報告を受けました

全員協議会から

市長から報告を受けました



刷新の会 平松 大佑



市民と語る会 高邑 朋矢



政和会 森田 輝雄



